

The background of the entire slide is a scenic photograph. In the foreground, there are dark, thin branches of cherry blossoms with small, light pink flowers. Behind them is a clear blue sky. In the middle ground, the snow-capped peak of Mount Fuji is visible, rising above a range of lower, forested mountains. At the bottom of the image, a calm body of water, likely Lake Kawaguchi, reflects the sky and the mountain. The overall scene is peaceful and beautiful, typical of a spring day in Japan.

火山防災協議会等連絡・連携会議 資料

富士五湖エリアでの 観光防災の取り組み

2023年11月14日

一般社団法人富士五湖観光連盟

富士五湖のエリアについて (富士北麓5市町村)



富士吉田市

忍野村

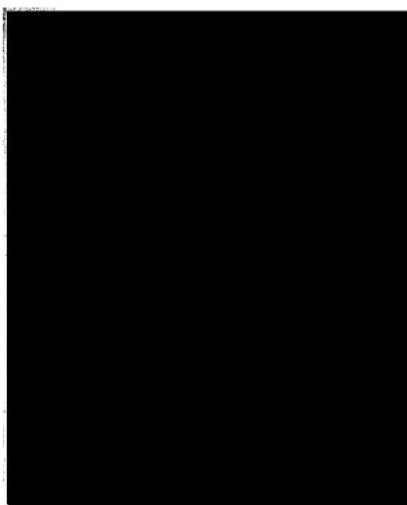
鳴沢村

山中湖村

前置きの話題



以前は、富士山噴火の話題はタブー視。噴火を題材とした書籍に対して著者及び出版社に「富士山に対する冒とく」として抗議したこともある(1983年)が、



現在は、富士山を正しく知り、正しく備えて「富士山との共生」を推進

荒牧重雄氏を講師に迎え「富士山火山防災対策講演会」を開催(2005年)

「富士山火山防災対策」講演会

テーマ 「富士山と共生するために求められる、火山に対する正確な知識習得と適切な対応」

日 時 : 平成17年4月12日(火) 11:00

会 場 : ホテルハイランドリゾート パンケットルーム「芙蓉」

次 第

1. 開 会
2. 主催者挨拶
3. 講 演

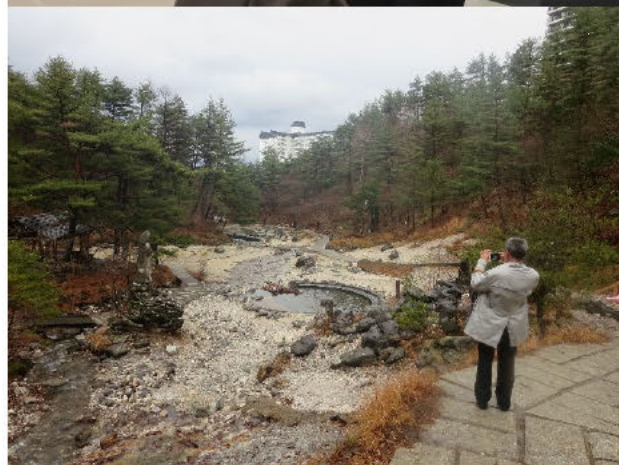
「富士山火山防災対策について」

講師 荒牧 重雄 氏

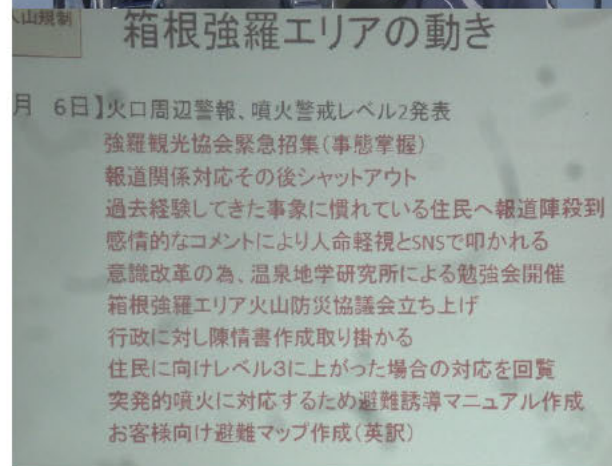
(山梨県環境科学研究所所長・東京大学名誉教授)



他地域の火山防災体制を学ぶ(2014、2016年)



草津町で白根火山の噴火を想定した取り組み体制などを研修(2014年)



箱根町で箱根大涌谷の火山活動の状況と対応などを研修(2016年)

「富士山火山ガイドマップ」を作成(2016年)



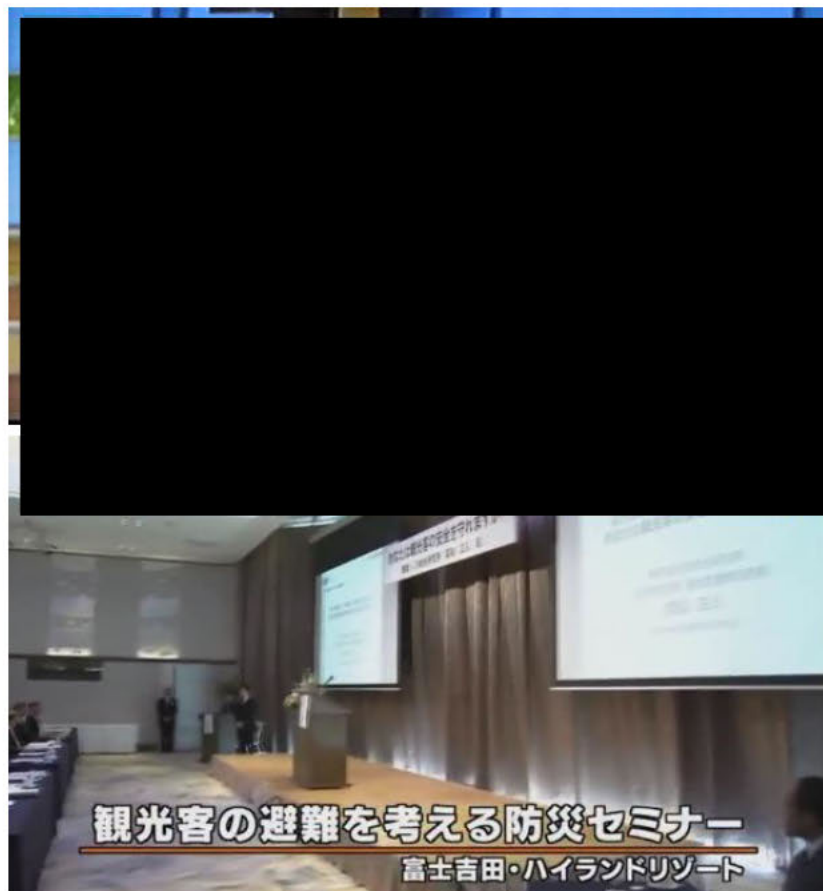
「富士山火山広域避難計画」の策定を受け、
観光連盟として富士山が火山であることを観光客に伝えるため
「富士山火山ガイドマップ」を作成し、観光案内所・道の駅案内所等で配布。

「富士山火山ガイドマップ」英語挿入(2017年)



海外からの来訪者にも、富士山が火山であることを伝えるため、前年度作成したガイドマップの判型を大きくし、英語併記版を作成。

観光防災を目的としたセミナー開催(2019年)



富士五湖地域の観光従事者が、災害発生時にしっかりと観光客の安全を守れるよう、高松正人氏を講師に迎えセミナーを開催。

FAX 送信先 富士五湖観光連盟行き (0555) 22-7142

観光地域づくり・人材育成研修

富士山噴火!? 大地震!? 豪雪!? 増水!?

あなたは観光客の安全を守れますか?

富士山噴火、大地震、豪雪、増水など富士五湖においても多様な災害が想定される中、万が一の事態に遭遇した際に不特定の観光客、特に急増する外国人観光客に対してどのような取り組みをすればよいのか。当地の大きな課題に対し具体的な提言や解決に向けたヒントをお話しいただきます。観光関係者だけでなく様々な事業関係の皆様のご参加も歓迎いたします。



高松正人氏略歴

◆日時 2019年11月19日(火)

午後 1時30分 開場

午後 2時 開演

午後 4時 終演予定

◆会場 ハイランドリゾートホテル&スパ

グランバンケット「富士」

◆講師 高松正人氏

(株式会社JTB総合研究所 観光危機管理研究室長)

◆聴講 無料

◆定員 100名(先着順、定員になり次第締め切ります)

1982年日本交通公社(現JTB)入社。旅行営業・販促促進・人事・IT 企画等の経験を経て、2001年より旅行・観光分野の調査・コンサルティング業務に従事。東日本大震災後、観光危機管理を事業化し、地域の観光防災・危機管理計画・マニュアル作成に携わるとともに、国内外での講演や研修講師を通じて、観光危機管理の啓蒙を行う。東京大学大学院、東洋大学で観光防災・危機管理の講義を担当。

著書:「観光危機管理ハンドブック」(朝倉書店)

観光防災セミナー参加申込書

2019年 月 日

事業所名		所属部署	
住所		TEL	
聴講者氏名	①	②	
	③	④	

主催 一般社団法人富士五湖観光連盟(0555-22-7102) 富士吉田商工会議所(0555-24-7111)
この事業は日本観光振興協会の「全国広域観光振興事業」として実施しています

※ ご記入いただいた個人情報は本講演会開催に係る受講者の確認、受講者名簿の作成、本講演会運営に関する情報目的のみに使用いたします。

災害対応マニュアル作成の動き(2020年)

せっかくのセミナーを一過性で終わらせたくない

観光担当者と相談し、マニュアルの作成を決定

観光担当者だけでなく、防災担当者も加わり

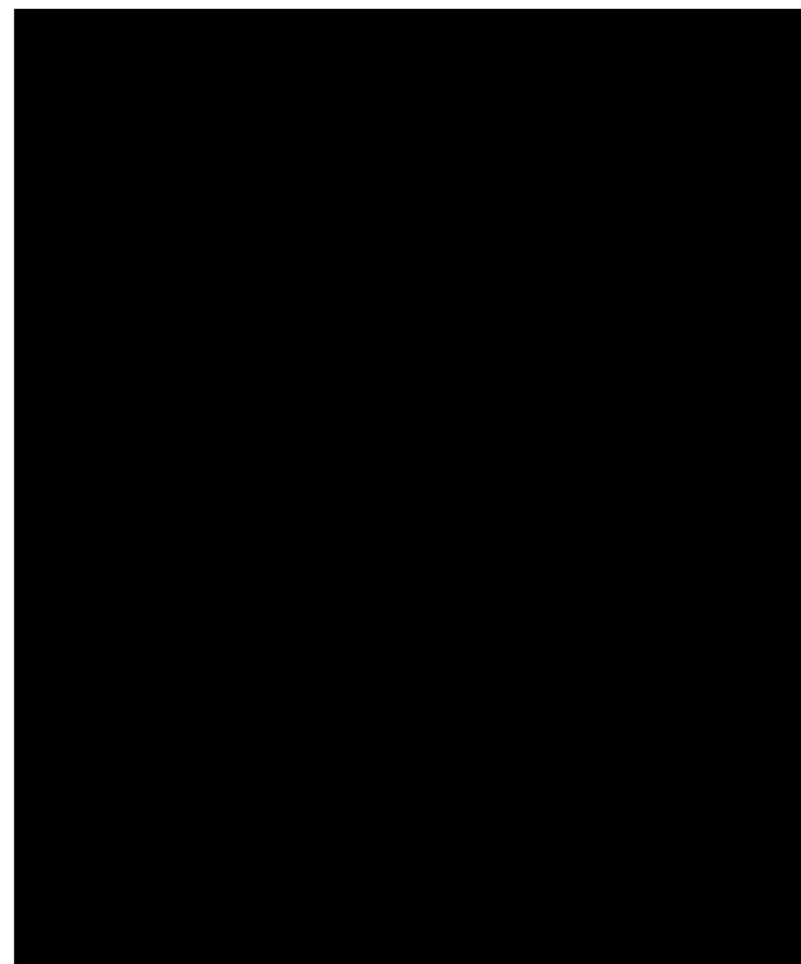
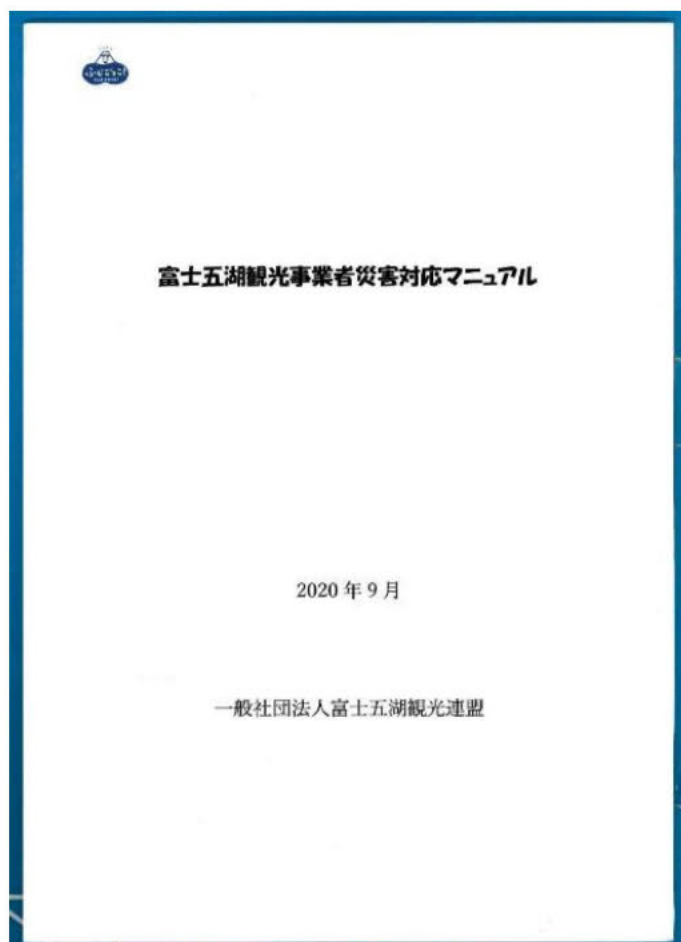
消防本部や商工団体も加わり

関係者全員が出席し、各所毎の課題の抽出、掲載内容骨子まとめ

高松氏が執筆



観光事業者災害対応マニュアル作成(2020年)



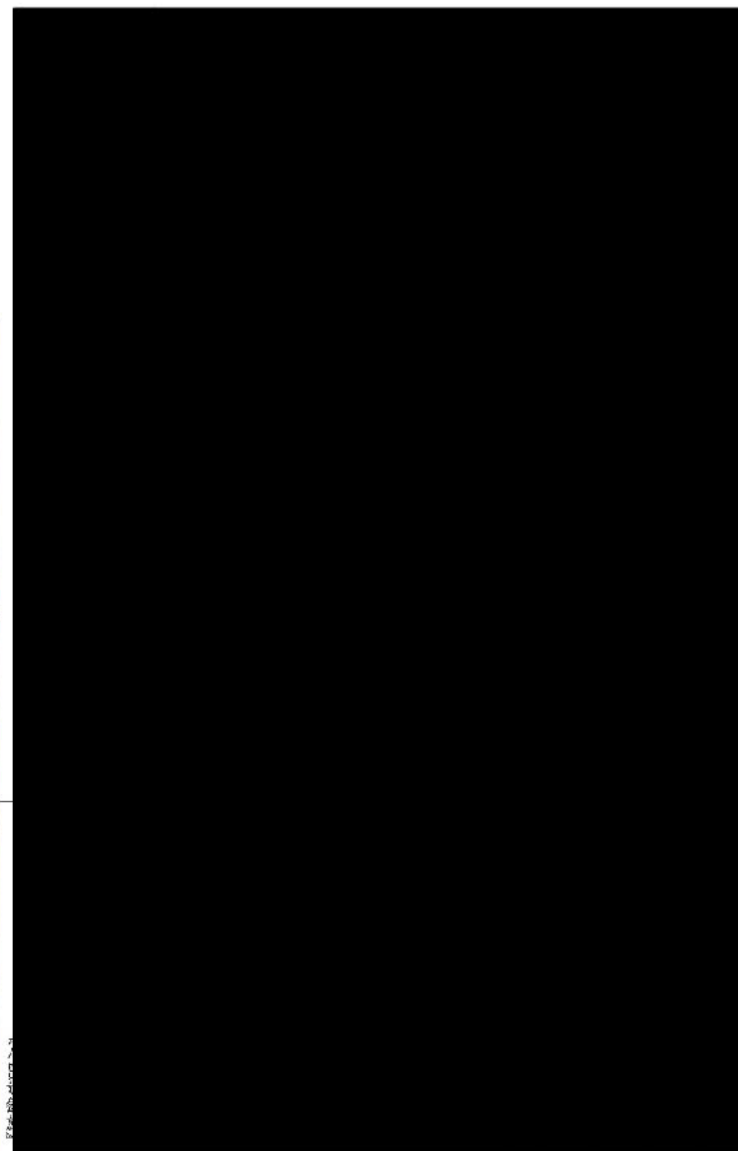
対象とした災害
富士山噴火、大地震、
大雨・洪水・豪雪

カタカナで読む
英語での案内

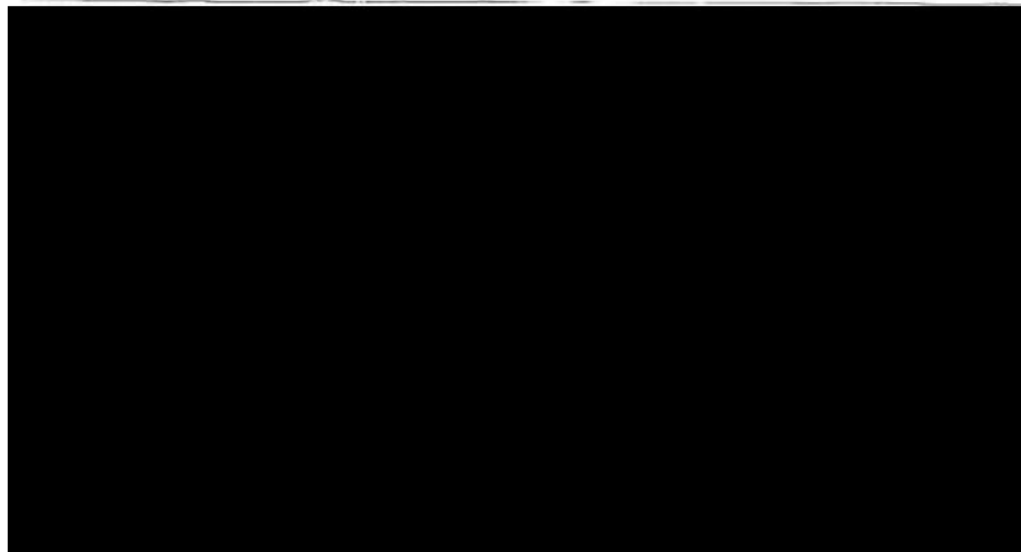
Word版を公
開し活用促進

観光防災セミナー②開催(2020年)

マニュアルが「保存」されるのではなく、有効に活用していただくために、マニュアルを教材として使い方をテーマにしたセミナーを開催。



マニュアル作成に伴う反応(2021年)



- ①「商工会議所2021年度全国大会in沖縄」
- ②「ARISEジャパンシンポジウム」(JTB-F)
- ③「観光危機管理に関するウェビナー」(観光庁)
*いずれも官民連携での取り組みを中心に説明
- ④「東洋大学学生との意見交換会」(学生からマニュアル活用策の提案)

「富士山、その特徴と魅力」講演会(2021年)



日本富士山協会創立20周年記念式典で、藤井敏嗣先生を講師に迎え、
「正しく恐れよう！ 富士山、その魅力」と題し講演会を開催。

「富士山火山ガイドマップ」改訂版(2021年)

知って楽しい「富士山噴火」のこと。その影響は東京にまで・

富士山はまだ若い活火山。

いつかは必ず噴火！

富士山は過去5600年間で約180回噴火しましたが、これは平均すると30年に一度、噴火している計算になります。それでは富士山の一番最近の噴火はいつでしょうか。それは約300年前の宝永噴火です。ずいぶん間が空いてますが、これは富士山の火山の寿命が終わったためでしょうか。実は火山の寿命は数十年から100万年といわれていますが、富士山はまだ生まれて10万年ほど。つまり人間でいえば10歳～20歳ですので、まだまだ活動が続くことを覚悟しておかなければならない山なのです。

たくさんの方の見たところを造った貞観噴火

富士山の噴火で「貞観噴火」という言葉がよく聞きます。これは今から約1150年前の864年(貞観3年)にあった、富士山で最も大きな規模の噴火です。この噴火で青木ヶ原湖が生まれ、剝の海(むのうみ)と呼ばれる大きな湖が分断されて西湖、精進湖、本栖湖という3つの湖が誕生しました。そしてこの広大な青木ヶ原湖の中に富士山、風穴、噴火氷穴、西湖コウモリ穴といった溶岩洞窟も造られたのです。

「富士山の火山灰」は、東京でも要注意！

富士山の噴火の形は様々ですが、宝永噴火はたくさんの方の火山灰を降らせる噴火でした。東京(当時は江戸)でも数センチの降灰がありましたが、2021年に改定された「富士山ハザードマップ」でも東京中心部には2cm以上の降灰が予測されています。箱根付近では30～50cmと予測されていますので、富士山エリアだけでなく関東地方に在住されている場合は富士山噴火とは無縁ではありませんので関心をお持ちください。

富士山は噴火のデパート！

一口に火山の噴火といってもその形態はいろいろです。下図にあるように富士山の噴火では、①火砕流 ②降下火山灰・厚い降灰 ③土石流 ④小さな噴石・大きな噴石 ⑤融雪型火山泥流 ⑥溶岩流、など様々な形が想定され、まるで品ぞろえの良いデパートみたいです。万が一、「富士山で噴火」のニュースに接することがあったら、降灰流が流れているのか、火山灰が飛ぶのかなどを確認してください。



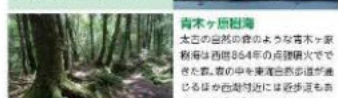
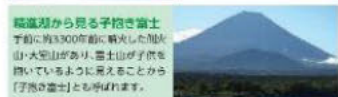
富士山最大の噴火は宝永噴火

静岡県側から富士山を見ると、右側に大きくえぐれた火口を見ることが出来ますが、その火口を作ったのが宝永噴火です。今から約300年前、江戸時代宝永年間(1707年)の噴火ですが、これ以降、富士山では噴火をしていません。とても大きな火口で直径は約1km、富士山頂の火口が直径約500mですので、はるかに大きな火口がここに作られました。現在はプリンスルートと呼ばれる人気のハイキングコースで火口の中を歩くことができます。



火山ならではの富士山の魅力

現在の富士山の形がほぼ定まったのは約3000年前で、山頂部付近が現在の姿になったのは2300年前。そして約1150年前に青木ヶ原湖ができた約300年前に宝永山(宝永火口)が出現しました。長い富士山の歴史の中で、今のよう美しい富士山を見ることができ、自然を楽しめるのは現代人の特権。



「富士山ハザードマップ」が2021年に改定されたことを受け、改訂版を作成して観光案内所等で配布。

ハザードマップの紹介とともに、「富士山が火山であること」及び「富士山が火山だからこそ見られる美しい景色」も紹介

「御庭・奥庭に関する勉強会開催(2023年)」

富士山火山ガイドマップ
富士山ハザードマップ 2021年改定版より

The map shows the Mount Fuji area with various hazard zones. A large orange-shaded area covers the central and eastern slopes, indicating a high risk of large debris flows. Red and yellow dots mark specific vents. The map includes labels for locations like 富士河口湖町 (Fujikawaguchi), 鳴沢村 (Nagatsura), 富士吉田市 (Fujikyo), and 山梨県 (Yamanashi Prefecture). It also shows major roads like the 138 and 139.

Below the map, there are several QR codes and links for more information:

- 富士山ハザードマップ 詳しくはこちらから
- ハザード統合マップ
- 溶岩流の可能性マップ
- 大噴火・大砂降りの可能性マップ
- 火山灰の降る範囲
- 火山灰の被害想定
- 富士山の活動状況 (気象庁14年)
- 富士山の活動状況 (気象庁14年)
- やまなし防災ポータル (山梨県14年) 交通情報も確認できます
- スマホ、携帯電話が使えない時に 公共電話設置場所
- 災害発生時 必ず 本人に電話がつかないときは... 災害用伝言ダイヤル「171」

On the right side of the composite image, there is a photograph of a meeting room with people seated at tables, and a photograph of a volcanic landscape with a large, dark, rocky slope.

富士スバルラインに多くの想定火口が重なっていることに注目。

富士山五合目に観光客が取り残されることへの懸念

「富士山火山避難基本計画」勉強会(2023年)



山梨県火山防災対策室
との共同開催。

「観光客の安全を確保
するためには、行政だ
けでなく観光事業者にも
防災対応を知ってい
ただくことが重要」であ
るため、民間会員中心
に参加を呼びかけ

日ごろの業務推進体制(様々なレベルで開催)



①理事会(観光協会長・行政観光課長ほか)
年間4回開催し、四半期の報告と計画を審議



②観光担当課長会議
理事会資料の事前確認、各事業大枠確認



③観光担当者会議
理事会後に開催し詳細検討



④観光案内所連絡会
行政単位のご案内所の横の連携



⑤青年部定例会
個人単位の参加で自由な意見交換

山梨県防災対策室との連携

富士山火山に関する情報受伝達訓練及び説明会
日時 令和5年11月8日(水) 14:00
WEB形式

～被災伝達訓練 (14:10頃から)～
※B会議への入室をお要
→ 団体名を要

令和5年度 第4回 富士山火山防災対策協議会
山梨県コアグループ会議 次第

日時 令和5年11月8日(水) 13:30～14:00
WEB形式

火山専門家と行政機関で構成されていた「富士山火山防災対策協議会山梨県コアグループ会議」に、民間団体も加えていただき情報共有の機会を得ている。

1. 火山専門家

氏 名	所 属
荒牧 重雄	山梨県富士山科学研究所 名誉顧問
池谷 浩	山梨県富士山科学研究所 客員研究員
藤井 敏嗣	山梨県富士山科学研究所 所長
吉本 充宏	山梨県富士山科学研究所 研究管理幹

2. 関係機関

機 関 名
防災局 防災危機管理課
防災危機管理課火山防災対策室
消防保安課
富士山科学研究所
県民生活部 峡南地域県民センター
富士・東部地域県民センター
林政部 治山林道課
富士・東部林務環境事務所
観光文化・スポーツ部 世界遺産富士山課

機 関 名
県土整備部 道路管理課
砂防課
峡南建設事務所
富士・東部建設事務所
富士・東部建設事務所吉田支所
教育委員会事務局 総務課
山梨県警察本部 警備部警備第二課
山梨県道路公社 富士山有料道路管理事務所
富士吉田市 安全対策課 富士山火山対策室
都留市 総務課
大月市 総務管理課
上野原市 危機管理室
身延町 交通防災課
西桂町 総務課
忍野村 総務課
山中湖村 総務課
鳴沢村 総務課
富士河口湖町 地域防災課

機 関 名
富士五湖広域行政事務組合消防本部
大月市消防本部
峡南広域行政組合消防本部
都留市消防本部
上野原市消防本部
国土交通省 富士川砂防事務所
甲府河川国道事務所
富士砂防事務所
甲府地方気象台
富士急行株式会社
富士山麓電気鉄道株式会社
富士急バス株式会社
一般社団法人 富士五湖観光連盟
富士スパルライン自主防災協議会
中日本高速道路株式会社八王子支社



ご清聴ありがとうございました。